

民生委員児童委員は、それぞれ担当地区を受け持っています。相談したいけれど、自分の地域の担当者がわからない場合は、市ホームページで確認いただくか、地域福祉課（☎22-8118）にお問い合わせください。

## 地域の身近な相談役 民生委員児童委員さん



片山さん

春日野さん

大野さん

「高齢者でひとり暮らしなので不安」「子育てに悩んでいる」「親の介護に疲れている」・・・このような声に耳を傾け、相談に乗っているのが民生委員児童委員の皆さんです。

今月は「敦賀市民生委員児童委員協議会連合会」会長の春日野野さん、副会長の片山一美さん、大野恵美子さんの3人にお話を伺いました。

### 民生委員児童委員とは

地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談や解決のお手伝いを行うボランティアです。任期は3年で、市内各地区に139人の委員がいます。見守りが必要なひとり暮らし高齢者の安否訪問、障害者や、子育てに悩む保護者の相談など多岐にわたって活動しています。

民生委員児童委員のうち、12人は「主任児童委員」として、専ら児童に関する相談・支援を担当しています。

Q どういった活動をしていますか？

片山 ひとり暮らしの高齢者の自宅を定期的に訪問しています。私の担当している人は12人で、若い人で76歳くらい、高齢の人で

100歳を超えています。訪問では、何気ない会話の中から、体の調子や困っていること、心配ごとがないかを確認しています。話の中で、ちょっとおかしいなというところや、認知症かなと気になるところがあれば、地域包括支援センターなどに連絡して、次の対応に早くつなげられるよう心がけています。

春日野 地区内の高齢者に安否確認を定期的に行きましかと聞いたら「まだ若いし、元気だからいいよ」と言われる人もいます。あまり積極的な訪問を好まない人もいますので、例えば町内を散歩している姿を見かけたり、干してあった洗濯ものが取り込まれていたりとか、そういったところを目視で確認して、安否確認をしている場合もあります。

大野 ひとり暮らし高齢者宅の訪問以外にも、高齢者

会話の中から心配ごとなどないか確認しています

Q 活動の中で心がけていることは？

片山 訪問先の人の様子がいつもと変わらないうかが確認しながら、話を聴くようにしています。また、ひとり暮らしの高齢者で、必要な人には、緊急通報装置の設置を促して、安心して生活を送ってもらえるよう心掛けています。



皆さんから信頼される  
民生委員を目指しています



Q どんな時にやりがいを感じますか？

大野 見守りが必要な人をはじめ、地域の皆さんが安心して生活している姿を見ると、一番やりがいを感じます。

片山 昨年、ひとり暮らしの高齢者から腰痛で動けないとの連絡が入って、関係機関につきましました。後日、ご本人さんから電話をいただき「痛みも和らぎ、ぐっすり眠れた」と喜びの報告をいただきました。そんなときにやりがいを感じました。

Q 市民の皆さんに伝えたいことは？

片山 児童や高齢者、障害者への虐待問題が深刻さを増す中、関係機関との連携強化が喫緊の課題だと感じ

ています。私たち民生委員が地域住民の立場に立って相談や支援活動を行っているために、地域や関係機関、団体の皆さんのご協力をお願いいたします。

大野 地域の誰もが安心して、住み慣れた場所で暮らすことができる社会になるには、高齢者問題、認知症、虐待、障害者保護を他人事ではなく、自分たちのことだと自覚することが大切です。地域全体で「頼み上手」「頼まれ上手」になって、一人で悩まず、誰にでも相談できる地域づくりを一緒に目指しましょう。

「ありがとう」は私たちのやりがいにつながります

